

経営学部経営学科 入学者受入れの方針

経営学部は、「中京大学の建学の精神」、「中京大学の理念」及び学部が定める「教育研究上の目的（理念・目的）」に賛同し、また、以下に示す知識・技能・意欲・態度等を有しており、それを土台に学びを昇華させる意欲のある人を広く求めています。

<入学者に求める知識・技能・意欲・態度>

本学部では、「企業を始め官公庁、NPO 法人等の各種組織体経営に関する基礎的知識と高度の専門的知識を体系的に備え、問題を主体的に発見し論理的に分析・解析する思考力・判断力、及びコミュニケーションを図る能力を身につける」ことを目指しています。

経営学の学修対象の中心は、現代社会における各種組織体であり、それらを取り巻く環境の経済的、歴史的、社会的、国際的理解が不可欠です。また、組織体が抱える問題を解決するためには、ときには数学的なアプローチが必要となります。これらの知識を理解し、また発信するには日本語力はもちろんのこと、英語力も不可欠となります。以上の理由から、高等学校における各科目の基礎学力を身につけておくことが望まれます。特に、本学部の特徴である国際化に関する科目を積極的に履修することを希望する人は、英語に関しては高い学力が必要とされる点に留意してください。

また、商業科等専門高校の生徒は、専門科目を学習していることは、本学での講義の理解を深めるのに有益であるため、それらの科目の知識をしっかりと身につけるように心がけてください。

さらに、本学部では、問題発見能力やコミュニケーション能力等を高めるために、グループ・ディスカッションに取り組む講義も準備されているため、多様な人の考えや意見を理解しながら主体性を持って他の人々と協働作業を進め、自身の意見を表明する意志を持つておくことが望まれます。

本学部では、大学での充実した学びを達成するために、具体的には以下のような入学希望者を求めます。

- ・各種組織体の経営や、そこで仕事をするに関心がある。
- ・各種組織体を取り巻く社会の様々な環境に関心がある。
- ・広い視野で異文化を理解するに関心がある。
- ・問題を主体的に発見し、分析・解析するに関心がある。
- ・自分の考えや意見を、プレゼンテーション・討議・交渉を通して伝えるに関心がある。
- ・基礎的な情報の収集や必要なコミュニケーションを外国語でも行うに関心がある。

<入試区分・方法及び評価項目>

入学者に求める「学力の3要素」	前期・後期日程	推薦入試					グローバル特別	特別入試 帰国生徒 留学生 社会人
	A・M・F センタープラス センター利用	公募制推 薦 (基礎学 力型)	一芸一能推 薦 (特I推 薦)	指定校推 薦 (特II推 薦)	専門高校 特別推 薦 (特III推 薦)	附属校 併設校 推 薦		
知識 技能 高等学校で履修した教科科目について、基礎的な学力を有しているか。 高等学校在籍時に検定試験を受け、資格等を取得しているか。 部活動等で優秀な成績を修めたか 正確な日本語で「読む・書く・話す」ことができ、他者の考えを正確に理解し、自分の考えを伝えることができるか。	◎ 筆記試験 もしくは センター試験 で確認	◎ 筆記試験 で確認	○ 筆記試験 で確認	○ 筆記試験 で確認	◎ 筆記試験 実績 で確認	○ 筆記試験 で確認	◎ 筆記試験 面接で 確認	○ 筆記試験 (小論 文) で確認
思考力 判断力 表現力 自らの課題を発見し、その解決に向けて探究する力があるか。 成果等を表現するために、自分の考えをまとめ、相手に伝えることができる力があるか。	△ 筆記試験 で確認	△ 筆記試験 で確認	◎ 志望理由書 調査書 当日の面接 で確認	◎ 志望理由書 調査書 当日の面接 で確認	◎ 志望理由書 調査書 当日の面接 で確認	◎ 志望理由書 調査書 当日の面接 で確認	○ 志望理由 書 当日の 面接で 確認	◎ 筆記試験 (小論 文) 面接 で確認
主体性 多様性 協働性 主体性をもって、正課内外を問わず様々な活動に参加したか。 ルールをまもり、多様な人々とチームワーク(協働)をつくることができたか。 ベストを尽くすことができたか。 相手に敬意をもって物事に取り組むことができたか。 地域や国内外の社会とつながり、働きかけができるか。	△ 調査書 で確認	△ 調査書 で確認	△ 志望理由書 調査書 当日の面接 で確認	△ 調査書 推薦基準 で確認	△ 志望理由書 調査書 当日の面接 で確認	△ 調査書 推薦基準 で確認	△ 当日の 面接で 確認	△ 当日の 面接で 確認

* 表中の「◎,○,△」は評価の比重を表す